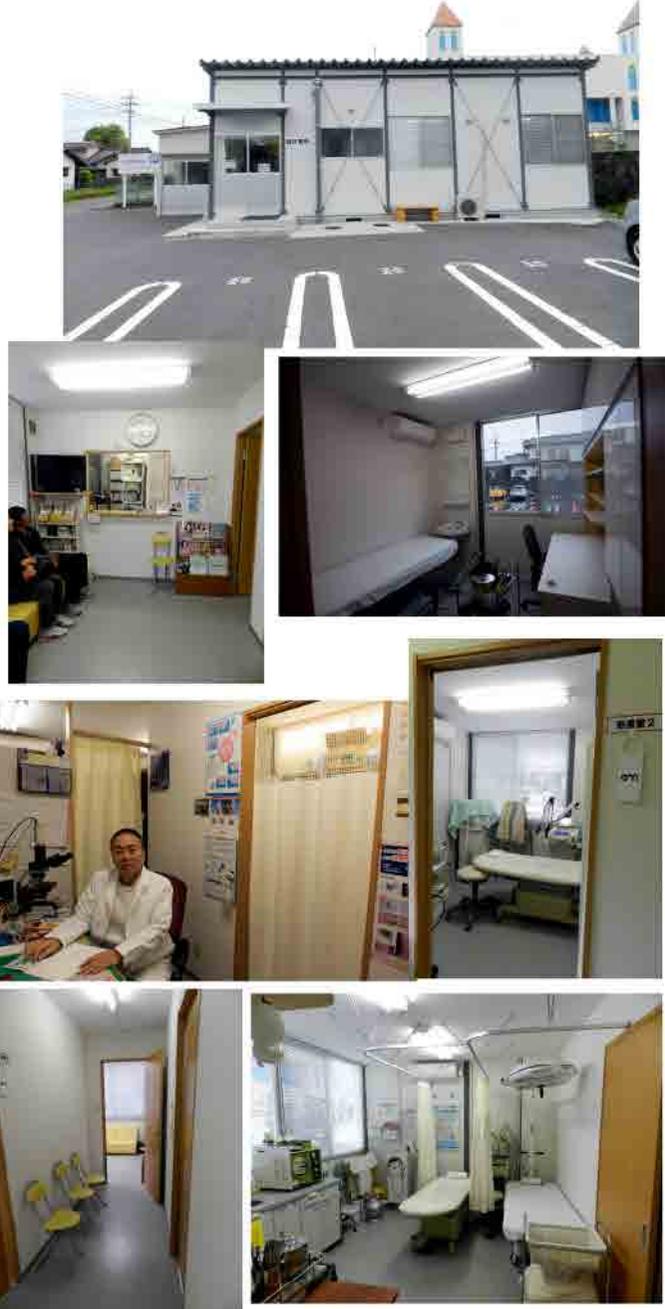


■ 仮設生活も後わずか。。。

6月28日(火)より新病院にて診療開始の予定です。
 いよいよ新しい病院のお披露目です!!



■ スタッフのひとり言 担当：田中 文子

皆さんはスーパーで買い物をして、レジ袋で持ち運ぶ時
 指に食い込んで痛い思いをした事はありませんか？
 この様な方法があります。一度試してみてください。



持ち手をぐるりと手首に巻き
 つけ親指と小指をフックに
 して袋に引っ掛ける



鞆を持つときこのように
 持つと少し軽くなるかも

■ 病院案内

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時30分	▲※	●	●	●	●	●
午後 14時30分~18時	▲※	●	●	×	●	×

※第2・第4月曜日が休診になります。
 木曜と土曜の午後・日・祝日は休診です。
 木曜・土曜の午後やお昼休みに往診・手術が出来ます。(要予約)

松下ひふ科 長崎県島原市新馬場町852-2
 〒855-0033 Tel 0957-62-6556
<http://taizou.biz/> ブログ:たいぞうの部屋

NO.31

広報 たいぞう

**6月28日(火)より
 新病院にて診療開始予定**

2016.5.12発行

■ 院長より・・・



素晴らしい。こんなに人生を謳歌している74歳を私は知らない。巽さんとはよく話し込むのだが、話が合うんだな・・・。

お互い、シンプルに生きている、これは感じる。何でこんなに自分の人生を困難にしている人が多いのだろう。現在の人生を決めているのは運命や過去のトラウマではなく、自分自身の考え方。人生を困難にしている事をやめればいいのです。こう宣言しましょう「自分は幸せだ」、そうしたら死ぬまで幸せですよ（笑）。シンプルに生きるには、どうするか？ほとんどの悩みは人間関係から始まる。物を断捨離するように必要のない人間関係を手放せばいいのです。私は仲間（魂の友）以外から誘われません。会議もずっとほとんどありません。食べたい、食べる。行きたい、行く。好き勝手の人生です（笑）。それともう一つの悩みを解決する方法、周りの誰かを喜ばせる事です。どうすれば喜んでもらえるかを考え、それをやればいいのです。『世のため、人のため』です。人間は人を喜ばせる事で幸せになる遺伝子を持っています。松下ひふ科は【登竜門】とよく言われます。私と、当院と関わって上がっていく人、これまで多数です。巽さんも当院と関わって、プロカメラマンの日本一になっちゃいました。巽さん、この地のために動いています。あなたも上がっていきませんか？

■ 先生のお友達 たつみ写真館 巽 信吾

バルセロナオリンピックで史上最年少14歳で金メダル獲得した時、岩崎恭子選手は「今まで生きてきた中で、一番幸せです」と言いました。

現在74歳の私はちょうど今、そんな心境です。すばらしい人たちに囲まれながら毎日を前向きに生きています。皆のおかげで最高の人生を送っています。

感謝感謝の毎日です。たつみ写真館は私の父が大正12年に写真館を開業し現在93年目を迎えています。

私が二代目で現在二男と三男が三代目として頑張ってくれています。数年前リタイアして気ままに暮らしています。

若い時からの憧れだった日本写真界の大御所、土門拳先生や木村伊兵衛先生、ユージンスミス先生のような素晴らしい写真が撮れるよう、今からでも遅くないと自分に言い聞かせながら勉強しているところです。

仕事から解放され全日本写真連盟島原支部というアマチュアの写真クラブに加入させていただいた時から、新しい人生が始まったような気がします。クラブの皆さんは好奇心旺盛な方々ばかりで、いろんなところに出かけては素晴らしい写真を撮ってきて見せてくださいますので、私も大いに刺激になっています。夜遅くまで写真の話で盛り上がりま

す。それからよりいっそう作品作りへの意欲が増したのは、松下ひふ科の職員さんが写真クラブに入会したからです。職員の方が結婚されるということになり、今までにない、すごい写真を撮ろうと色々な資料を持ち寄り、検討を重ねて、13箇所ですら約半年間にわたり前撮りをしました。結婚式当日には披露宴会場の一室を借りて写真展をしました。こういうことは全国でも珍しいことだと思います。

多くの皆さんが展示に協力して頂き素晴らしい写真展が出来ました。そしてその中の1枚が全日本写真館賞という日本全国のプロカメラマンのフォトコンテストでビックリボンの日本一になってしまいました。

お嫁さんをはじめモデルの皆さん、撮影スタッフ、全部松下先生の関係者ばかりの陣容でした。日本一になるとは夢にも思っていませんでした。

これは松下パワーの特殊な力が働いたのだと思います。私の力は多分3割、松下パワーが7割ではないかと思います。なんととっても病院に行くと先生の明るい笑顔と前向きなお話、そして職員の皆さんの明るい対応!!

二週間に一回の受診を毎日してもらいたいくらいです。仮に花粉症が治ったとしても演技のクシャミをしながら足腰が元気なうちは通うつもりです。国にちょっと迷惑かけるかもです。若い時は外国ばかり興味があってオーストラリア大陸をレンタカーで走ったり、ギリシャの島々に一ヶ月ほど滞在して撮影したこともありましたが、今になって地元の島原半島の魅力に気づき写真を通して世界に発信しようとフェイスブックとInstagramを始めたところです。

若い人に教わりながら、叱られながら頑張っています。これからも思いっきり人生を楽しみます。



「幸せのかけっこ」 日本写真館賞 大賞 産業経済大臣賞